



おたより



コロナ禍に思う・・・P 1
 オンライン研修の導入・・・P 2
 プチ里親レインボウの歩み・・・P 3
 「完璧な里親なんていない」研修に至るまで・・・P 4
 コロナ下のNPプログラム・・・P 5
 学会発表の報告・・・P 6
 インフォメーション・・・P 7, 8



コロナ禍に思うリソースセンターの今後 新しい地平を切り開く

CFRC理事長 福川 須美

思いもかけなかった事が世界中、地球全土に拡がってしまいました。新型コロナウイルスの感染拡大です。地球は人間だけのためにあるわけではない、ということ改めて自覚させられます。地球はあらゆる生物の共同の財産ですね。人間の活動がその協働の枠組みを壊し続けてきた結果の一つといえるでしょう。地球の自然は正直ですね。温暖化の問題も、マイクロプラスチックの拡散も、人間のやったことに原因があります。これからどうする？

これまで想像もしてなかった事態に面食らってしまいますが、とりあえずコロナを封じ込めることに成功しても、これからも同様の事態が引き起こされるかもしれないという恐怖を感じます。今の人間の世界は様々な理由で分断と競争と争いに引き裂かれています、そのなかで、様々な人々が勇気を振り絞って、事態を変革しようと地道に努力していることに、人間の希望を感じるのには私だけではないでしょう。

コロナの感染拡大防止策として、日本では外出などの自粛、3密回避などが喧伝され、私たちの日常生活は大きく様変わりしました。家庭生活も職場も遊びも、自粛、自粛。そのなかで子育ては危機に直面してしまいました。在宅勤務や休業、中には失業など、在宅が増えて、従来あまり芳しくなかった親子関係が悪化したり、ストレスを発散する機会も持てずに夫婦も親子も煮詰まってしまったなど、何とかして！という叫びが聞こえてきます。

CFRC では、コロナのおかげで対面で実施してきたプログラムを中止せざるを得ませんでした。しかしこのまま手をこまねいてはいられません。一堂に会して、話し合うことによって得られる成果はなにものにも替えがたいと思いますが、せめてオンラインを活用して新しい方法でプログラムを実施しようと決断しました。まだこれからですが、試行錯誤しながら新しい地平を切り開いていきましょう。どうぞよろしくお願いします。

【オンラインはじめの一歩講座】

オンラインを身近にしませんか？

コロナ禍の中、どんな子育て支援ができるでしょう。

コロナ禍の状況でも子育て支援は続けたい方、今まで、オンラインでの親子交流は遠くまであった方、ZOOMを使ったことがない、わからないと困っている方、オンラインでの交流を始めてみたい、どんなことが可能か、是非、お話を聞きたい！【出来る方も！】に感あることを目指します。そのお手伝いをするのがこの講座です。

ZOOM20名 集まれ！

アドバイザー 集まれ！

対象：NPファンリテーター、子育て支援をしたい方
 1人程度
 日 時：2020年9月23日(水) 10:00-11:15
 学 費：1,000円
 申込方法：メール申込み→入金→ZOOM招待メール
 当日参加（ご本人のメールアドレスが必要です）
 主 催：NPO法人 子ども家庭リソースセンター
 (問合せ先) 電話 03-6753-8855
 E-mail info@kodomoaki.com

【オンライン子育て支援研修】

オンラインで繋がって子育て支援！

コロナ禍、事業継続が難しく、親子が苦悩が伝染してしまっています。子育て支援の場を創出し、共に支え合える場を作ります。オンライン子育て支援をするためには、多様な支援が必要で、それは、オンライン子育て支援の実践している里親経験者から、新しいオンライン子育て支援について、ご自身の得意な分野や関心のある分野についてお話を伺います。お互い、子育て支援の場を創出する学習をとお互いに学びあいます。ZOOM研修にも、ファシリテーターの関心も付くので、参加者も学びあえます。

講師紹介
 福 千恵 一般社団法人オンライン子育て支援協会代表理事、NPファンリテーター
 鈴木梨紗 一般社団法人オンライン子育て支援協会代表理事、NPファンリテーター

参加費
 対 象：NPファンリテーター、子育て支援をしたい方
 1人程度
 日 時：2020年10月2日(金) 13:30-16:30
 学 費：8,000円
 申込方法：メール申込み→入金→ZOOM招待メール
 当日参加（ご本人のメールアドレスが必要です）
 主 催：特定非営利活動法人 子ども家庭リソースセンター
 (申し込み・問合せ先) 電話 03-6753-8855
 E-mail info@kodomoaki.com

【オンラインNP研修のご案内】

NPプログラムをオンラインで！！

コロナでも子育ては続けたい！
 フォンテーションを活用し、オンラインNP (Nobody Perfect) プログラムを実施し、まだ知らない方、まだ知らない方、是非、お話を聞きたい！
 オンラインNPを実施するには、オンラインNP研修の受講が必要で、

コロナ禍でも、やれる支援をしよう
 コロナ禍でも、やれる支援をしよう、オンライン研修では、地域をまたいで、どこかで実施できるプログラムもご紹介。
 オンラインならではのプログラムの展開や配慮を学び、ノーバディパーフェクトの考えに基づいたオンラインNPプログラムを提案できるように学びましょう。

オンラインNP研修 開催要綱

対 象：NPファンリテーター養成講座修了者で、ZOOM操作がある程度できる方
 定 員：15名程度
 日 時：2020年9月28日(月) 9時30分-16時30分
 学 費：13,500円(消費税込み)
 申込方法：おセンターHPよりメールにてお申し込みください
 主 催：NPO法人 子ども家庭リソースセンター



SARS-COV2 の感染拡大により、今までの「当たり前」が「当たり前でなくなりました。しかも、行動が極端に制限され、[人が集まる]という人の基本的な行動がしにくくなっています。国の緊急事態宣言(4月7日)を受け、本研究会企画の6月までの研修を中止しました。緊急事態宣言解除(5月25日)後も、人の参集は気軽ではなく会場での研修会開催は困難です。

毎年実施してきた子育て支援者や保健師、保育士向けの研修会をオンライン研修に切り替えました。保護者支援「不安な社会情勢での保護者の考え方と対応」(7月19日)や「0歳児の愛着形成のためのコミュニケーションスキル」講座(人育ち唄入門編)(7月26日、8月23日)を終了したところです。オンラインで伝える限界にハラハラして臨みましたが、熱心な皆様の支えで嬉しい結果になりました。逆に、東北や九州などの遠方の方の参加が容易になりました。受講後、早速、現場で用い、保護者のひろば利用の増加や信頼関係が深まったとの報告も頂きました。私自身がそうであったように、支援者が0歳児支援に確信を持つ重要性を再確認しています。

人育ち唄入門講座は、0歳児支援の神髄を受け取って頂くために丁寧に伝えることを重視しています。前編は、主に微細な運動につながる遊びやかかわり方を、後編では粗大な運動遊びや言語につながるジェスチャー遊びを取り上げます。心理学的な視点が入り乳児の発達との関連がわかる「人育ち唄」を、0歳児親子に届けたいとの思いです。

0歳児にかかわる支援者に一度は参加して頂きたい講座です。

手遊びで、赤ちゃんとの楽しい時間



【受講者の感想】

- ・支援者として0歳児支援のバックボーンを持つことで、保護者の育児不安解消の裏付けのあるお手伝いができると感じた
- ・赤ちゃんは応答するのに時間がかかることを伝えずにいました。ひろばで一緒にやってみて、我が子のタイミングや応答までの時間等ママと共に体感できたらいいなと感じました。自分たちのいるこの場所(ひろば)の大切さと、責任を感じました。もっともっと学ばねばと思いました。
- ・親から聞く偏食やハイハイをしない悩みへも、0歳の時からの遊びやかかわり方があることを知り、これから活用していきたいです。

今後の予定 —オンライン人育ち唄関係研修—

★入門編「0歳児の愛着形成のためのコミュニケーションスキル」

前編	10月5日(月)	13:30~15:00
後編	11月9日(月)	

*12月以降も、順次実施予定です。日程等詳細はHPをご覧ください。

★初級「0歳児の観察力アップ研修」:いずれも時間は9:30~12:00

第1回	9月27日(日)	~生後4ヵ月頃まで
第2回	10月25日(日)	生後4~7ヵ月頃まで
第3回	11月15日(日)	7~12ヵ月頃まで.観察のポイント





児童養護施設子山ホームにおける「プチ里親レインボウ」の歩み

レインボウ・ジャパン越智 三佳

2000年夏、米国デンバーの山中の静謐なリトリート施設で一週間のレインボウ・プログラム・ディレクター研修が行われました。私は子ども家庭リソースセンターから、資料翻訳の為に派遣されていましたが、まさかその後の18年間、レインボウにのめり込むことになるとは思っていませんでした。その年月を振り返り、ここに改めて、心理学にも社会福祉学にも素人である私を信頼して、日本でレインボウの展開をお任せくださった先生方、また惜しげなく子ども達へ愛情を注いでくださったボランティアの皆さま、グループに参加してくれた子ども達に、心よりの感謝を申し上げたいと思います。

さて、日本では前例のない形式で子どもへのサポートを行うレインボウでしたが、2000年、千葉県に臨む丘の上の児童養護施設、チルドレンズ・パラダイス子山ホームで森田園長先生の御英断により開始、お陰様で現在も継続しています。私は2002年から3年間、子どもグループに付き添うファシリテーターとして、その後15年間はコーディネーターとしてボランティア・ファシリテーターの支援をしながら、アメリカ生まれのレインボウを日本に適応させるべく、いろいろと方策を練ってきましたが、その経緯の中で生まれたのが「プチ里親レインボウ」です。

最近では、結婚をしない選択、子どもを持たない選択をする人が増える傾向にありますが、その中には、自分よりも小さい存在を慈しみたいという愛情の行先を探している人が少なからず存在しています。その一方で、法律的な状況やタイミング等といった様々な理由で、現在のどの里親制度にも縁がない子ども達が存在しているので、その両者を結びつける仕組みとしてレインボウを役立ようと考えました。そこで、レインボウの主旨は全くそのままに、教材の仕様、実施方式等に変更を加えて、2006年、児童養護施設用の特別バージョンとして作り上げたのが「プチ里親レインボウ」です。

あろうことか「プチ」などという言葉をつけてしまったので、ふざけている、軽すぎる、里親さんを見下している等、予想通りに様々な物議を醸すことになったのですが、この言葉は敢えて軽い、緩い印象を狙って選んだものです。里親制度には養育里親、季節里親、週末里親等いろいろな形式がありますが、どれも一般の人には敷居の高い印象があるので、ちょっとやってみようかな、できるかもしれないな、といった緩いタイプの里親スタイルとしてレインボウをアピールすることにしました。もちろん、名称が緩いからと言って子どもに対する責任を軽んじる訳ではありません。ただ、もっと広く、浅く、気軽に子ども達を支援する仕組みがあるのだ、と世の中に伝えたかったのです。「タイガーマスク運動」という活動がありますが、「プチ里親レインボウ」が目標にしたのはその手軽な響きです。なお、「プチ里親レインボウ」の「里親」は児童福祉法でいう里親ではなく、世話をする、気に掛ける、育てると言った一般的な意味の里親です。

さて、その緩い名称とは裏腹に、「プチ里親レインボウ」のボランティアの実際の内容は、時間的にも心理的にもかなりの負担を強いるものです。ですから、ボランティアに応募された方には詳しく説明し、納得して覚悟を決めた上で引き受けて頂くことようにしていました。「子どもを決して傷付けない事」が最重要であるので、やる気があれば誰でも良い、という訳には行かないからです。米国のレインボウでは、ボランティアへの応募は、子どもの安全のためにも関係者からの紹介が原則なので、「プチ里親レインボウ」でも同様にしました。ただ、途中でボランティアが不足した時期があり、困り果てた末に、唯一の例外として千葉県柏市のボランティア・ネットワークに紹介を依頼したことがあります。結果として素晴らしい人々に巡り合うことができたのは本当にありがたい事でした。奇跡のようだったと思っています。

恐る恐る一步を踏み出した、私同様に子どもの福祉の素人であるボランティアが、子ども達のことを四六時中考えるようになり、それに合わせて子ども達も変化していく過程はマジックのようで、裏方コーディネーターとしての冥利に尽きるものでした。なお、これまで約40名のボランティアが参加、そのうちの2人は活動終了後、他の施設から里子を迎えています。残念ながら、私は2017年に家庭の事情により活動から離れてしまいましたが、子どもの福祉の裾野を広げ、子どもの「孤立」の可能性を少しでも薄くする新しい手法として、「プチ里親レインボウ」が強力なツールであるという確信に揺らぎはありません。





「完璧な里親なんていない」研修に至るまで

NPファシリテーター 平田 美智子

私自身の事をお話すると、今から40年位前にアメリカの大学で社会福祉の勉強をしていました。まだ日本では、児童虐待の話題もなかった頃でしたが、アメリカで1年間実習をした福祉事務所では、虐待通報が日常的で、親に命を奪われる子どもも少なくありませんでした。その時、虐待対応担当のソーシャルワーカーが担当する、虐待の恐れのある親のためのグループワークに10回参加させていただきました。最初は無表情だった親たちですが、回が進行するにつれて、「自分の良いところ」「将来への期待」など肯定的な話をするようになり、最後の回では、幼いわが子にも温かいまなざしで接することができるようになっていました。私のイメージでは、こうしたグループワークは子育てに本当に困っている、孤立した、子どもを社会的養護に出しているかもしれない親たちに有効に働くということです。

日本に帰って、何か良いプログラムがないかと探していた時、『ノーバディズ・パーフェクト』のテキストを翻訳したと言って、訳者の向田久美子さんが紹介してくれました。おまけに、私の恩師であり、尊敬している故一番ヶ瀬康子先生の刊行の言葉も添えてありました。さっそくNPファシリテーターの資格を2010年に取り、幸いにも横浜市、相模原市そして今では地元の大和市で、毎年1回はNP講座を開催しています。開催できたことは、本当に素晴らしいのですが、共通しているのは、そこに参加される親は皆、学歴の高い、キャリアウーマンタイプの社交的な方たちで、子育ての悩みは多少持っていたとしても、本当に支援を必要とする、アメリカで私が見たグレーゾーンの親とは、全く異なるのです。そうした親は、日本でもいるのですが、自らNPのプログラムには申し込んでこないのです。

何か他で役立つことが出来ないかと考えた時、里親への研修を思いつきました。里親は、対象の子どもが愛着の課題を抱えていて、実子の子育てよりより多くの悩みがあり、共有して支え合えたらよいのではないかと考えたのです。たまたま東京都の里親研修を企画している方に話をし、2015年から年1回「完璧な里親なんていないー養育の悩みを語り合おうー」の講師をさせてもらえることになりました。児童相談所の方はNPの事を全くご存じないので、グループワークや途中で茶菓の事などに、とまどったようですが、少しずつ理解してもらえるようになりました。何より、グループワークは特にテーマを決めてはいませんが、「子どもの躰について」「実子との関係」「子どもが可愛く思えない」「告知をいつすべきか」など、今困っている問題を里親さん達が選び、経験学習サイクルのシートを使って、皆で熱心に話し合い、素晴らしいワークができました。研修の関係で、6回シリーズとはいかず、せいぜい2回位ですが、里親さんたちの話し合いの奥深さには驚かされます。最後に、「完璧な親はいません、完璧な里親もいません」とテキストを読み替え、研修は終わります。

この里親へのグループワークは、今では里親支援機関である「二葉保育園」が企画運営して続いています。また、グループワークの副産物なのですが、児童相談所の他の里親研修のグループワークでも、最初に「人の話を良く聴く、ここで話したことは口外しない、」などの決まり事を確認するようになり、よりグループワークが充実してきました。NPの良さを、是非様々な分野で広げていけたらよいと思っています。





2020年8月も終盤に入りました。今年初頭に始まり今なお勢いが収まらない新型コロナウイルス感染拡大により全ての社会的機能が影響を受け、NPも例外ではありませんでした。実施中のプログラムの中断もしくは延期、計画が実施できない状況が続いています。NPファシリテーター養成講座も第1期は実施できませんでした。

こうした中、コロナ下でのNP実施のためのガイドラインの作成が求められ、急遽トレーナーからの提案を集めて作成しました。まずは会場の定員の1/2の人数、換気可能な十分広い会場で開催時間を短くする等、募集から実施上の配慮点、終了後のフォロー、ファシリテーター自身の留意点などについても言及しています。この「コロナ下の対面NPガイドライン」はトポスの会をはじめ順次ファシリテーターの皆さんに届けています。ガイドラインを必要とする方、コロナの収束を想定して対面NP実施を計画している方でまだお手元に届いてない方は、リソースセンター事務局に請求してください。

上田市の芹澤さんは、地元の子育て支援センターNP担当者、保健師さんと連携し、万全のコロナ対策を取り細やかな配慮を尽くして対面プログラムの実施に取り組みられました。事前打ち合わせ、ふりかえりを丁寧に行い、始まる数週間前から終了後まで、ご自身の体調管理と行動に注意を払う日々にも頭が下がります。

コロナ収束が見通せない状況下であっても、NPプログラムを必要とする親御さんの存在を忘れるわけにはいきません。本来は対面で行うNPプログラムではありますがそれが難しいことから、CFRCではプログラムをオンラインで届ける、オンラインNPプログラムの作成にも取り組み、ほぼ完成に近づきました。在宅でお子さんや家族もいる環境へのプログラム実施には、安全への細心の配慮が求められ、進行やコミュニケーションの難しさも伴います。CFRCでは、このオンラインNPプログラムについて学び、オンラインでのNPプログラム実施をめざす「オンライン研修講座」を9月末に予定しています。受講された方には修了証を発行します。詳細についてはリソースセンター事務局にお問い合わせください。

NPファシリテーター養成講座ですが、8月後半の第2期講座は、大豆生田さんによって対面で実施することができました。王子事務所近くの集会所の十分広い会場を借り、複数のドアを開けて換気をしながら7名の方が長いテーブルを囲んで受講されました。職場からの派遣で不安なまま来た方も、会場に来て安心したとのこと。マスク姿のファシリテーションは、途中まではいつもよりお互いの距離を感じましたが、その後は全く気にならなかったそうです。

こうしたコロナ下でNPも苦戦しながら頑張っています。コロナが1日も早く収束して、安心して元の対面NPができる日の来ることを心から願っています。



研修「オンラインで繋がって子育て支援」担当にあたって

(社) オンライン子育てひろば協会 鈴木 梨紗

コロナ禍以前の2018年より取り組み、培ってきたオンライン子育て支援を始めるにあたっての基本的な知識、開催のノウハウをすべてお伝えします。

具体的な開催イメージを持っていただくために、子育て支援に使えるビデオ通話の便利な機能の紹介、ひろば開催のタイムデザインの仕方をお話させていただき、参加者同士で具体的に検討する時間も設けています。

そして、オンラインによる子育て支援は、「親子が安心安全に参加できること」がなによりも大切です。開催の準備段階から開催中の安全確保のための、テクニカル面の施策、および支援者の声かけ方法などもお伝えします。支援者自身が安心して開催し、親子が楽しめるオンラインでの豊かな居場所づくりを、一緒に学びあえればと思っています。

すでにオンラインでの取り組みを始めている方も、興味はあるけれども何から学んだらよいのか...と考えている方も、ぜひお会いできることを楽しみにしています。



学会名:一般社団「日本家族療法学会」第37回「東京大会」

日時:2020年9月4日(金)～9月5日(土)

コロナ禍にあつて、学会のイベントはすべてオンラインで行われました。

以下、そのシンポジウムの内容をお伝えしたいと思います。

■自主シンポジウム:喪失をかかえる子どもたちへのグリーフケア

ーレインボウ・プログラムの実践報告を一例に

櫃田紋子(当法人・レインボウジャパン代表)

森田雄司(社会福祉法人チルドレンスパラダイス・聖愛乳児園園長, 当法人理事)

伊志嶺美津子(Nobody's Perfect Japan 代表, 当法人理事)

菅野陽子(浦和大学, 当法人副理事長)



今回の企画は、前号でも記述したように不確実で困難な「あいまいな喪失」のなかにいる子どもたちの多くにレインボウ・プログラムが応用できるのではないかと思います、長年にわたり児養護施設「子山ホーム」との連携と取り組みを紹介し、家族のレジリエンスが欠損している子どもたちへの支援について参加者とともに考えることが目的でした。

はじめに森田理事より、昨年2019年3月まで18年間自身が「子山ホーム」にレインボウ・プログラム導入して、それを基盤に施設に暮らす子どもたちの自立へのプログラムを開発してきた取り組みとの関わりについて、過去・現在そして先を見据えた未来への希望、すなわちプログラムを受けた子どもたちが大人になっても互いの絆を持てる効果についての予測の可能性についての発表がありました。

次に、櫃田理事から、認定ディレクターの資格を取得し、レインボウの精神とプログラムの普及に努めた経緯と、レインボウ・プログラムの中身について基本的な重要なポイントを解説して、グループの力が助けになるなどの特徴について解説しました。

最後に、92年にカナダでレインボウに初めて出会った伊志嶺理事が、ぜひ自尊感情を大事にされていない日本の子どもたちに届けたいという熱意から、2000年に米国のシカゴからS・マルタ(故人)を招聘しやっとなら導入できたものの、日本の教育現場ははじめ実際に実施することの困難にぶつかった状況下で、子山ホームとご縁があつて今があることの道のりについて語りました。

今後は、同様にプログラムの応用を試作するなど、まず広く知っていただく努力をしていきたい、と参加者への理解と関心と呼びかけました。

企画当初から、コロナ禍に遭つた今。まさに「あいまいな喪失」にある私たちの社会に、レインボウの理念がより求められると考えます。





★Nobody's(ノーバディズ) Perfect(パーフェクト)(NP)プログラム体験講座

NPの考え方が生まれたカナダの背景、NPを理解するためのミニ体験講座。NPの内容を知りたい方たち向けに適切な講座です。定例的に年4回(各3時間)実施。内容はどの回も同じです。

【内容】(1)NPプログラムの理念と精神、人間観・価値観 (2)NPプログラムが、なぜ、今、子育て支援が現場に必要なのか (3)NPプログラムの体験ワーク(実習)

【時間】13:00～16:00【会場】当センター事務所【定員】各20名【受講料】2,500円(テキスト代500円含)

【開催日程表】2020年度NPプログラム体験講座 ※開講1～3か月前までにお申込み要。※第1回は中止。

	講座日程	担当(予定)	状況
第3回	2020/10/18(日)	木村弘美	募集中
第4回	2021/1/17(日)	未定	募集中

★Nobody's Perfect(NP)ファシリテーター養成講座(4日間)

NPプログラム実践者資格取得の為に必要な講座です。内容はどの期も同じです。

1)通常講座(毎年、5月、8月、11月、2月に東京で実施)

【時間】1・2日目 9:30～16:30 3・4日目 9:30～17:00 【会場】当センター事務所 【定員】各12名

【受講料】70,000円(テキスト代2,000円および教材費は別。資格申請料10,000円別)

【開催日程表】2020年度NPファシリテーター養成講座 ※開講1～3か月前までにお申込み要。※第1期は中止。

	講座日程	担当(予定)	状況
第3期	2020/11/20(金),21(土),22(日),23(月祝)	永田陽子	募集中
第4期	2021/2/20(土),21(日),27(土),28(日)	渡邊暢子	募集中

★NPアフター講座(年3回) 対象:NPファシリテーター養成講座を修了されたすべての方

ファシリテーター資格にふさわしい技能や資質を維持し、NPプログラムに参加される方々に最良のプログラムを届ける為に必須の研修の機会です。プログラムの質の維持の為に少なくとも3年に1回は受講ください。

(1)フォローアップ研修講座日程 2021/2/14(日) 募集中

【時間】各日共通 9:30～12:30(3時間) 【受講料】各日3,000円 【定員】各20名

養成講座終了後2年以内にプログラムの実施ができなかった方が対象です。

(2)ステップアップ研修講座日程 2021/2/14(日) 募集中

【時間】各日共通 13:30～16:30(3時間) 【受講料】各日3,000円 【定員】各20名

プログラムの実施済みの方が、技能をさらに向上させるための研修です。プログラム実施に当たって困ったことや課題を持ち寄って、トレーナーとともに学びあって課題解決を図り、それぞれのステップアップを目指します。

※上記1,2,3の講座の企画や実施についてはお気軽にご相談下さい。また、自治体、法人等の団体からのお問合せも承ります

「Information」 子ども家庭リソースセンター（CFRC）からのお知らせ



★2020年度レインボウ・ファシリテーター&コーディネーター(RP)～喪失体験をのりこえる子どもたちへの援助～

保育所・幼稚園・小中学校・児童養護施設・児童館・学童保育・地域子育て支援拠点などで子どもに関わっている方におすすめの講座です。

①【レインボウ・ファシリテーター養成講座】第1回9月12日(土)終了 第2回3月20日(土)

時間:10時～17時 受講料:10,000円(別途テキスト代5,000円)

②【レインボウ・コーディネーター養成講座】第1回9月13日(日)終了 第2回3月21日(日)

時間:13時～16時 受講料:5,000円(別途テキスト代2,000円)

会場は①、②とも当センター王子事務所 定員は:共に12名

講師は共に、櫃田紋子、伊志嶺美津子

申込方法:開講3～1ヶ月前に当センター事務局までご連絡ください。HPからもお申込頂けます。

★オンラインによる各種講座、研修のご案内

①オンライン始めの一步講座「オンラインを身近にしませんか？」

日時:9月23日(水)10時～11時15分 参加費:1,000円

②オンライン子育て支援研修「オンラインで繋がって子育て支援！」

日時:10月2日(金)13時半～16時半 参加費:8,000円

③オンラインNP研修「NPプログラムをオンラインで!!」

日時:9月28日(月)9時半～16時半 参加費:13,500円

④「支援者スキルアップ0歳児の観察力を磨こう！」

日時:第1回9月27日/第2回10月25日/第3回11月15日 いずれも日曜日、9時半～12時

参加費:全3回15,000円(単独参加の場合は各回6,000円)

⑤「0歳児の愛着を育てるコミュニケーションスキル」

日時:10月5日前編/11月9日後編 いずれも月曜日、13時半～15時

参加費:前2回5,000円(単独参加の場合は各回2,700円)

講師は④⑤とも永田陽子

各講座、研修の詳細は、当センターのホームページでご確認ください。
ホームページから申し込みもできます。

●トポスの会(自主的なファシリテーターの学びの会)

第3回トポスの会例会日程:2020年12月13日(日)13時～16時 会場は王子のCFRCの事務所もしくはコロナ禍の状況によってはオンライン例会になると思います。第4回は3月14日を予定しています。

詳細は「トポスの会 NPゲーペ」でご検索下さい。

●寄付金のお願い

2019年度、2020年度上半期でご寄付を頂戴した方々です。厚く御礼申し上げます。

石川文子さん、磐瀬祐子さん、片岡容子さん、金田利子さん、菅野陽子さん、芹澤文子さん、長友肇さん、松本三喜男さん *匿名でご寄付を頂戴した方々にも合わせて御礼を申し上げます。

【寄付金お振り込み先】 ゆうちょ銀行 口座記号・番号 00130-4-651522

加入者名:NPO子ども家庭リソースセンター

～ ご質問、お問い合わせ等は、下記のCFRC事務局まで ～

●ボランティアさん募集中

ファシリテーターの皆さんに、NP養成講座開催時のスタッフ役や親役などのボランティアをお願いするこ

NPO法人子ども家庭リソースセンター(略称:CFRC)

○所在地 〒114-0002 東京都北区王子 2-18-12ドムス王子 1階 ○Tel&Fax03-6755-2855

○E-mail info@kodomokatei.com ○URL <http://kodomokatei.com/>

○交通機関 JR線王子駅北口改札から徒歩8分 地下鉄南北線王子駅5番出口から徒歩7分

編集後記 コロナ禍を見据えながら、今後の事業展開に一步踏み出した当センターです。対策をしっかりとりながら、講座や研修を進めていきます。実践報告などどうぞ一読下さい。斉藤まり子

編集・発行 NPO法人子ども家庭リソースセンター 発行日:2020年9月25日

